



▲校舎（左側が中学校、右側が小学校）

小・中学校の連携を目ざす

五和小学校開校式・五和中学校入校式

4月8日、五和町御領に建設された五和小学校（全児童350人）の開校式と五和中学校（全生徒200人）の入校式が同中学校体育館で行われ、児童・生徒や教職員など約550人が出席しました。

五和小学校は、同町内の御領鬼池・城河原・手野・二江の4小学校が統合し開校。五和中学校は旧五和西中学校に建てられた仮校舎から、今回新しくできた校舎に入校するものです。両校は、小・中学校の連携を目ざして校舎が隣どうしに建てられており、2階部分が渡り廊下と両校共用の図書室でつながっています。

式典では開校宣言が行われたほか、児童・生徒を代表して中学校3年の松本潤平さん、小学校6年の田端砂月さん、福島健心くんが「互いに助け合い、感謝の心をもって歩みます」と、誓いのことばを述べました。



▶誓いのことばを述べる
田端さん(右)、
福島くん(中央)、
松本さん(左)

それぞれの地域のよさを結集して

牛深小学校開校式

4月9日、牛深地域の牛深・二浦・魚貫・天附の4小学校が統合し誕生した、牛深小学校（全児童377人、校舎は牛深小学校）の開校式が同校で行われ、児童や教職員など約450人が出席しました。

新しい校旗の授与が行われた後、児童を代表して6年の戸川富喜くん、梅田愛乃さん、池上尚緒さん、野中颯くんが「4つの小学校のよさを結集し、元気いっぱい前進していきます」と宣誓。その後、新しい校歌を斉唱し、新たなスタートを祝いました。



▲新しい校旗を披露する児童たち

海を渡って小学校へ

御所浦小学校・スクールボートでの通学が始まる

御所浦・御所浦北の2小学校が統合し誕生した御所浦小学校（全児童122人、校舎は御所浦小学校）。横浦島に住む児童24人は、校舎がある御所浦島まで「スクールボート」での通学がスタートしました。

この船は、横浦島在住の御所浦中学校生徒の通学船として2年前から運航しているもので、与一ヶ浦港～横浦港～御所浦港を結び1日に5便を運航しています。児童は、「船にはふだんから乗っているの不安はありません」と笑顔で話していました。



▲船に乗り込む児童たち

市民の安心・安全を守る 拠点施設が完成！

天草広域連合消防本部・中央消防署落成式

3月28日、「天草広域連合消防本部・中央消防署落成式」が本渡町広瀬の同所で開かれ、関係者など135人が参加しました。約1万1,200㎡の敷地には、鉄筋コンクリート造り3階建ての庁舎・車庫棟をはじめ、訓練棟やヘリポートを設置。庁舎は1階が中央消防署、2階が消防本部、3階が天草広域連合事務局となっているほか、最新鋭のコンピューターシステムの導入により災害現場到着の時間短縮などを強化した、高機能消防指令センターを設置しています。

式典では、消防本部から工事経過報告があったほか、落成を記念してテープカットが行われました。



▲庁舎・車庫棟



▶テープカットの様子



▲満開の桜の中を歩く参加者

桜吹雪を楽しみながらウォーキング

天神山潮風ウォーキング

3月31日、「第2回天神山潮風ウォーキング」が開催され、鬼池港から天神山（標高172m）までの往復約7.2kmのコースに、約110人が参加しました。この日は小雨の降る中、参加者は登山道沿いに咲く満開の桜と、時折吹く風に舞う桜吹雪を楽しみながらウォーキング。山頂では晴れ間ものぞき、自然豊かな眺望を堪能したり、ふるまわれたタコ飯と豚汁に舌鼓を打ったりして、春の一日を満喫していました。

戦没者を慰霊し、世界の恒久平和を願う

天草戦没者追悼式

4月5日、戦争で尊い命をなくされた天草島内の戦没者の霊を慰めるために、天草市・上天草市・天草郡苓北町の2市1町合同による「第9回天草戦没者追悼式」が天草市民センターでしめやかに行われました。

追悼式には、戦没者の遺族など420人が参列。戦没者之霊位に献花を行い、亡くなられた人たちのめい福をお祈りするとともに、二度と悲しみの歴史を繰り返すことのないよう、世界の恒久平和を祈念しました。



▲献花を行う参列者